

たまが和

玉川人権だより

第5号

発行：遺跡と萩の育む
玉川まちづくり推進会議
人権委員会〒525-0059
滋賀県草津市野路九丁目7番42号
(玉川まちづくりセンター内)
TEL：077-564-0189
FAX：077-564-0200

人権委員会活動テーマ『思いやりのある明るいまちづくりをめざして』

遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議人権委員会活動報告(1,2 ページ)

◎第1回人権講座 2022年7月19日(火)

場 所：玉川まちづくりセンター

テーマ：自分を幸せにする自分と生きるには

講 師：NPO 法人「やんちゃ寺」代表

佐藤 すみれ さん

玉川まちづくりセンターと共催で、2回の人権講座を開催しました。1回目の講師は草津市内で子どもたちの問題に取り組む佐藤すみれさん。参加者同士が話す時間もあり、エネルギーな時間を過ごしました。



◎第2回人権講座 (町内学習懇談会事前研修会 第3講座) 2022年9月7日(水)

場 所：玉川まちづくりセンター

テーマ：大人の引きこもりを考える

講 師：岡山県立大学特任准教授

周防 美智子 さん

長年にわたり子どもの不登校・ひきこもりに取り組んでこられた周防先生に、最近話題になることの多い大人のひきこもりについてお話いただきました。この問題の難しさと、地域の役割の大きさが感じられる内容でした。



◎管外研修 (平和学習) 2022年12月1日(木)

行き先：滋賀県平和祈念館

ウクライナでの戦争が日々報じられるなか、滋賀県平和祈念館へ赴いて平和について学びました。守山空襲に関するビデオなどで学習した後、企画展「戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅱ」をはじめとする展示を観覧しました。展示物を見ながら親や祖父母から聞いた話と重ね合わせる参加者の姿が見られました。



◎第1・第2講座 (町内学習懇談会推進者研修講座 市全体での研修) 7/9 (土) 草津クリアホール

- 第1講座 部落解放草津市協議会 山内 真理那 さん 「わたしの思い」

- 第2講座 大阪教育大学名誉教授 森 実さん

「部落問題学習で広がる人生・変わる社会 ～水平社100年、部落差別解消推進法をふまえて～」

(第1・第2講座は新型コロナウイルス感染予防のためDVD研修となりました。485名参加、うち玉川25名)

◎第4講座(町内学習懇談会事前研修)

2022年10月3日(月) 19:00~ 玉川まちづくりセンター
「充実した町内学習懇談会のために」

参加者 各町人権委員、人権センター、草津市行政協力者



第4講座の様子

◎実践発表のつどい

2023年2月25日(土) 13:30~ 玉川まちづくりセンター

小・中学生による作文の朗読の後、PTAの実践報告、人権委員会の活動報告、各町の町内学習懇談会の報告がおこなわれ、草津市立人権センター伊東所長のお話で一年間の活動を締めくくりました。

実践発表のつどいの様子→



玉川小学校5年生 ^{おのであら}小野寺
^{こう}浩さんによる作文「ジェン
ダーレス」朗読



玉川中学校2年生 ^{ふじはし}藤橋
^{あい}愛さんによる作文「私た
ちにできること」朗読



◆各町内の人権学習(町内学習懇談会)

野路町内会

12月2日(金) 19:00~21:00

新宮会館にて、奥井照夫さんより、「~身の回りに
起こりうる人権について深掘してみよう~」

参加者46名

野路小林町内会

11月26日(土) 18:00~19:00

野路小林会館にて、DVD「ほんとの空」鑑賞、
鑑賞後にアンケートを実施

参加者27名

桜ヶ丘町内会

11月26日(土) 19:00~20:30

桜ヶ丘会館にて、宮川正治さんより、「認知症とは?
~認知症の高齢者への関わり方を学ぶ~」

参加者37名

ローレルコート南草津町内会

12月17日(土) 18:00~19:00

ローレルコート南草津集会所にて、中島由里子さんら
より「身近にいる知的・発達障がいの人を理解しよう」

参加者30名

◆PTAの人権学習

◇玉川こども園

- ①5月20日(金) 『Sign! Sing!! Smile!!! 手話と歌で笑顔になろう』 講師: yokko さん
- ②11月16日(水) グループ懇談会『自信を育むための親のかかわりについて』 講師: 炭谷将史さん
- ③2023年1月13日(金) 「わが子を“幸せ”にする育て方って…?人権教育をとおしてつきたい『チカラ』」
講師 杉江範昭さん (人権研修にはのべ140人が参加)

◇玉川小学校

- ①11月8日(火) 「自分ごととしての『LGBTQ』」 講師: 藤原直さんほかLGBTの方々
座談会形式で実施 会場参加30人+オンライン
- ②2023年2月6日(月) 「レインボーフラッグ作り~6年生とLGBTQの方との交流~」
6年生及び6年生保護者(授業参観として)
- ③2月21日(火) 「情報モラル学習会~ネットワークを正しく利用するために~」 講師: 篠原嘉一さん
保護者参加15人+オンライン、6年生児童(学級閉鎖のため参加者が少ない)
- ・ほかに11月14日~18日の「人権週間~人権標語代表作品選出~」など



◇玉川中学校

- ①6月16日(木) 情報モラル学習会「将来に不安を残さないSNSの注意点~ネットトラブルから身を守るために~」講師: NIT情報技術ネットワークの篠原嘉一さん。PTAから60名(先生方を含む)と生徒約400名が参加。
- ②広報誌を2回発行。(7月は上記学習会の報告、11月は人権に関する映画や本の紹介)

2022(令和4)年度人権作品

ポスターの部



玉川中学校3年
小野寺 由季 さん



玉川小学校6年
手塚 愛結 さん



★ポスターの部

- 玉川 3歳児 上月 健太 さん
- こども園 4歳児 平山 瑞桜 さん
- 5歳児 福田 稀大 さん
- 玉川中学校3年 なかしま ひとみ さん
- 中島 瞳 さん

★詩の部

- 玉川小学校4年 いすみ 泉 さん
- すみか 澄夏 さん

★作文の部

- 玉川小学校5年 たけばやし ともえ さん
- 竹林 友恵 さん
- うちやま あすか さん
- 内山 愛咲香 さん
- 小野寺 浩 さん

★標語の部

- 玉川小学校2年 みわ 三輪 さん
- おうせい 央星 さん
- 玉川中学校3年 なかがわ はると さん
- 中川 陽斗 さん



玉川小学校6年
笹尾 実希 さん



玉川小学校6年
樋口 芽生 さん



標語の部

贈り物
笑顔はね
こころをいやす

玉川小学校3年 中瀬 茜 さん

優秀作品

心はね
がんばろうといわれると
自分もがんばろうと思うよ

心はね
すてきだねといわれると
あなたもすてきだねと
言いたくなるよ

みんないわれると
うれしいよ

詩の部

心はね
ありがとうといわれると
うれしいよ

心のじゅば

玉川小学校4年 小寺 梓生 さん

優秀作品

3、4ページに掲載の作品は、草津市人権擁護推進協議会が募集した「人権や平和に関する作品」の中から最優秀と優秀に選ばれた玉川学区の子どもたちのものです。2022(令和4)年度は、標語・作文・詩・ポスター・グループ作品で合計5709点の応募がありました。

2022(令和4)年度人権作品

作文の部

一日目の勇気を

最優秀作品

玉川中学校2年

末岡 七鈴菜さん

私は小学生の頃、人と話すのが苦手でした。家族とは楽しく話すことができるのに、クラスの子とは全然上手く話せませんでした。今考ええると、話しかけられたら上手に返せていたので、自分から話しかけることに苦手意識があったのかもしれない。

小学四年生の春、いつものように本を読んでいると、教室の中を走りまわる足音が聞こえました。鬼ごっこをするのなら外でやってほしいなあと思いつつその様子を見たら、その中の二人が近くまで逃げて来ました。

「うっわ、最悪。あいつにさわっちゃったからエキスついたー。」

「きつたねー。絶対俺につけんよー？」

エキス？と疑問に思って教室を見わたすと、困ったような顔で笑った人が見えました。それからすぐにチャイムが鳴って授業が始まってしまったので、何もできませんでした。しばらくたって、菌やエキスなどの言葉がやむことはありませんでした。

その男の子をA君とすると、A君に触ると「A君エキス」というものがうつり、他の人をタッチしてうつさないといけない、いわゆる菌まわしがクラスで流行りました。菌扱いをする人たちにもA君にも話しかけることができず、私はただ傍観者としてな

がめているだけでした。心の中では、助けられるのなら今すぐにも助けて、でも話しかけられないのに何ができるんだろう？とすごく葛藤がありました。

いつも通りの掃除の時間。私はA君と出席番号が近かったので、同じ場所での掃除でした。その日は担当が理科室で、A君はほうきを、私は雑巾で床の掃除をしていました。みんな友達と話しながら楽しそうにしていました。私とA君は話す相手がいないので、もくもくと掃除していました。

掃除中にもA君の悪口は聞こえてきて、自分のことではないのに胸が痛くなったのを覚えています。チャイムが鳴る五分前、そろそろ終わって教室に戻っておこうと思いい、バケツを持って廊下に出ました。私はかきをかける係だったので、最後の人が出るまで外で待っていました。すると、

「バケツ、持つよ。」

A君が声をかけてくれたのです。私が慌てて

「いいの？」

と返すと、全然いい、と返ってきました。優しいのだなと思っていると、A君は言いました。

「でも、僕が触ったもの触るの、嫌だよね。」

私は口を開いたけど、何と答えたら良いかわからないまま首を横に振ることしかできませんでした。少し笑ったA君の顔から

は、目をそらしてしまいました。

そのことがきっかけとなり、私はA君と少しずつ話すようになりました。仮面ライダーが共通の話題となり、だんだん仲良くなったような気がします。それでも、A君を菌扱いするのは続いていました。

「嫌じゃないの？つらくない？」

と聞くと、

「嫌だったけど、一人話せる人がいるだけで今まではいいかな。」

と言われました。話しかけられるタイミングはたくさんあったのに、遠くから見ているだけになっていて、自分もつらくて苦しいことをしている側だったのかもしれないと考えました。罪悪感を抱きつつも、今は助けられたのかな、と少しうれしくなりました。

話しかけるタイミング、表情、言葉など、すべてが難しいコミュニケーションでも、一度がんばってみるだけで大きく変わると思います。なんで話しかけなかったんだ…と後悔しないためにも、怖がらないで話しかける精神を大切にしていこうと思います。もしかしら、誰かの一言を待っている人がいるかもしれない。そんな人の「誰か」になりたいと思いました。



★あなたは「人権」という言葉からどんな印象を受けますか。

★あなたは子どもさんから「人権って何？・どういう事？」と問われたらどのように答えますか。

さて、本年度もコロナ対策を取る中7月～12月にかけて「4つの講座・2つの研修・各町内学習懇談会」を順次開催し、2月に「実践発表のつどい」でその成果を発表して頂きました。発表内容はそれぞれに素晴らしいもので、今回のキーワードは「新しく知る」・「相手の立場で感じる」事でした。

人権委員会の皆様1年間ご苦労様でした。厚く御礼申し上げますとともに、今後の活動に対して更なるご協力をお願い致します。終わりに当たり、ある人の「戦争は最大の人権侵害」であるという言葉思い浮かべながら挨拶とします。